



— 第1回(2月)定例会 —

二つの議案(80歳敬老祝金の廃止と消防団退職時家族慰労金の廃止)が否決される

- ・敬老祝金(80歳に5,000円支給)の廃止は反対多数により否決される
- ・消防団員退職時の家族慰労金の廃止も反対多数により否決される

令和5年最初の第1回定例会が2月21日から3月17日まで25日間の会期で開催され、令和5年度当初予算などの予算関係26件、条例関係25件、その他5件、諮問関係2件、議員提出議案6件の計64件が審議され、80歳の敬老祝金の廃止と消防団員の退職時の家族慰労金の廃止が否決されました。

■第1回定例会で審議された条例関係等議案

- ◇仙北市個人情報の保護に関する法律施行条例制定について
- ◇仙北市個人情報保護審査会条例制定について
- ◇仙北市田沢湖クニマス未来館条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市思い出の潟分校条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市田沢湖クニマス未来館等観覧料の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市組織条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市情報公開条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について【否決】
- ◇仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市立角館榊細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市総合情報センター条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市立角館町平福記念美術館条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市武家屋敷河原田家条例の一部を改正する条例制定について(観覧料の値上げ)
- ◇仙北市病院事業使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市伝承館等観覧料の特例に関する条例を廃止する条例制定について
- ◇仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例を廃止する条例制定について【否決】
- ◇市道の廃止について
- ◇市道の変更認定について
- ◇市道の認定について
- ◇松木内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◇田沢辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◇人擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(2名)

議決結果/議員賛否

令和5年 第1回 仙北市議会定例会(招集日:令和5年2月21日 最終日:3月17日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	議員														
				小 林 幸 悦	真 崎 寿 浩	高 橋 輝 彦	武 藤 義 彦	青 柳 宗 五 郎	門 脇 晃 幸	熊 谷 一 夫	平 岡 裕 子	高 久 昭 二	荒 木 田 俊 一	田 口 寿 宣	澤 田 雅 亮	中 村 和 彦	小 田 島 広 仁	西 宮 三 春
議案第4号	仙北市田沢湖クニマス未来館条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第5号	仙北市思い出の潟分校条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第6号	仙北市田沢湖クニマス未来館等観覧料の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第7号	仙北市行政組織条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第16号	仙北市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	反	反	賛
議案第19号	仙北市立角館榊細工伝承館並びにふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第20号	仙北市総合情報センター条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第22号	仙北市立角館町平福記念美術館条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第23号	仙北市武家屋敷河原田家条例の一部を改正する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第25号	仙北市伝承館等観覧料の特例に関する条例を廃止する条例制定について	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
議案第26号	仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例を廃止する条例の制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	反
議案第27号	令和5年度仙北市一般会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

ふるさと納税寄付額19億円に！ 出産準備金を令和4年4月から給付！

令和4年度一般会計補正予算（第11号・第12号・第13号）の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	3億円	ふるさと納税の寄付額の見込みを3億円増額（合計で19億円）
ふるさと納税ふるさと便事業費	1億7,293万円	ふるさと納税の寄付額増額による返礼品や送料の経費の増額
道路の除雪費	6,700万円	除雪出動経費の不足による増額
出産準備金給付事業費	858万円	妊娠届出時5万円、出産届出時5万円の計10万円を令和4年4月から給付
介護保険特別会計繰出金	261万円	にしき園における電気料金高騰等による一般会計からの繰出金の増額
病院事業会計補助金	2億2,317万円	医師確保対策経費や電気料金高騰による一般会計からの補助金の増額
生活バス路線対策費	1,292万円	対象路線の追加等による補助金の増額
低コスト技術等導入支援事業費補助金	3,325万円	令和5年度の事業を前倒して実施する県の補助金
田沢湖マラソン大会負担金	620万円	参加者減少による大会負担金の追加（当初予算1,000万円）

本会議・予算常任委員会での主な質疑

◆組織再編として企画部を新設するメリットは何か

質問 4月1日から企画部を設置し、企画政策課とまちづくり課（新設）を配置するとのことだが、目的と役割を伺う。また、企画部を新設するメリットは何か。デメリットはないのか。

答弁 企画政策課はこれまで様々な事業を担当しながら、他事業の施策評価にも取り組んできたが、慣例的な評価事務となっていたことは否めないと考えている。今後さらなる行財政改革の実効性を確保するためには、限られた予算で各事業を評価しながら、効果的な施策を実施することが必要であることから企画部門を強化することにした。デメリットは想定していない。

◆消防団員退職時の家族への慰労金廃止について

質問 これまで何人の家族に支給し支給額はいくらか。また、夜中でも農作業中でも出動する消防団員を長い間支えた家族への謝意を無くすことは、団員、家族のモチベーション低下になるのではないか。

答弁 平成28年から始まり今年度末までの見込みで、延べ117名、793万円の支給であり一人平均6万7千円程である。家族が献身的に支えているのは事実であるが、家族への慰労金が団員の確保に繋がっている訳ではないことと、近隣自治体では未実施であること、さらには、令和5年4月から団員の報酬及び出動手当が増額となることから家族慰労金の廃止を提案した。

◆病院事業会計への補助金の増額補正について

質問 令和4年度一般会計補正予算で病院事業会計に2億2,317万円の補助金が増額されているが、角館、田沢湖両病院にどれだけ補助するのか。また、経営改善について伺う。

答弁 角館総合病院に1億4,043万円、田沢湖病院に8,274万円である。医師確保対策経費として応援医師の報酬等の増や不採算地区病院としての財政措置の拡充、及び電気料金等の物価高騰による増額などに充当する。経営改善については、市長、副市長とも協議しており、医師確保の重要性や病院経営コンサルの導入について検討している。

80歳の敬老祝金を廃止することを否決！

市民福祉常任委員会で否決となり 本会議でも否決される。

反対討論 少ない予算であっても、課題解決には十分に議論し市民が納得する形で進めるべきだ。80歳になって5千円の祝金だが、お年寄りは楽しみにしている。市長の目指す幸福度日本一の趣旨に反するものだ。

賛成討論 80歳の5千円を廃止する厳しい判断であり、それだけ財政状況が逼迫しているということだ。仙北市を次世代に繋げるために、今は我慢が必要な時だ。財政を立て直してから改めて充実した福祉施策を構築するべきである。

※本会議で起立採決の結果 賛成4 反対11で否決

消防団員退職時の家族慰労金を廃止することを否決！

総務文教常任委員会では全会一致で否決される。

反対討論 24時間出動体制の消防団員を長年に渡って支えてきた家族への謝意である慰労金は継続すべきである。当局答弁で近隣自治体の未実施も廃止事由としたが、市民の福祉向上施策は各自自治体独自のものがあってしかるべきである。

賛成討論 当局説明では団員へ説明し理解を得ているとのことであり、家族も理解していると感じた。家族のいない団員は受け取れない。4月から団員報酬及び出動手当が増額され、団員本人の直接的な処遇改善は家族も喜ぶのではないかと。

※本会議で起立採決の結果 賛成4 反対11で否決